



●日本測量協会

技術士増やし測量の品質確保

日本測量協会(清水英範会長)は2022年度に、測量業界全体の品質向上に向けた技術士資格取得支援と、高い精度の測量を実現するための自主研究事業「測量近代化研究会」の充実を図る。24日に都内のホテルで第72回定時総会を開いた。

清水会長=写真=は、測量業界の品質向上のためには「高度な知識と豊富な知見・経験を持つ技術者が必要」とし、教育の重要性を述べた。その上で、国土管理に必要な業務を効果的に遂行する能力を認定する、日本測量協会の民間資格「空間情報総括監理技術者」を増やすことが品質向上に直結するとし、「まずは受験資格となる技術士を増やす」ために支援セミナーを強化すると話した。

「測量近代化研究会」は、作業規定

の準則が複雑化していることと、品質管理の方法が1977年以降ほとんど変わっていないことに着目し、これらの問題を解決するために2021年度に立ち上げた。複雑さを排し、これからの時代に対応できるマニュアル整備に向け、「22年度は本格的に取り組みを深める」とした。



議事では、21年度事業報告・収支決算と22年度の事業計画と予算を承認した。また、新型コロナウイルス感染症など社会情勢が大きく変化しており、緊急時に迅速に対応するための定款変更についても承認された。総会前には3年ぶりとなる第18回公共測量品質管理優秀賞表彰式を開いた。